

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・事業所の特徴	「要介護状態になっても地域とのつながりを絶やさない」「地域の中の施設」をコンセプトにしています。介護が必要になった人が家族や地域とのつながりを保ちながら、生活を送れるように「通い」「訪問」「泊まり」の3つのサービス形態を本人、家族の希望に合わせて柔軟に組み合わせ利用できます。「通い」「訪問」「泊まり」どのサービスを利用してもいつも顔なじみのスタッフがケアを行います。少人数登録制のため家庭的な雰囲気での利用者・スタッフと楽しく過ごすことができ認知症の方も不安なく過ごすことができます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護榎田屋	管理者	木村真人		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	3人	3人	1人	0人	2人	0人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	事業所自己評価について改善計画を継続し、目標を達成できるように努める。	目標を達成出来たところもあるが、出来ていないところもある。今後出来るように努めること。	職員数が不明である。自己評価参照し選択。評価の項目が分かりづらい。	事業所自己評価について改善計画を継続し、今回出来ていない所に重点を置き目標を達成できるように努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	小規模入口にある地域交流掲示板をより見やすく活用し、季節や小規模の雰囲気を感ぜられるような内容を継続していく。	季節に合った飾りや行事を行い雰囲気作りに努めている。	地域交流の掲示板はとても雰囲気が良いと思います。皆さん立ち止まって見ている。	利用者や家族、また地域の方に季節や小規模の雰囲気を感ぜられるような内容を継続していく。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所の内容を広報誌などで情報の発信を継続していく。	地域とのかかわりを大切に取り組んできた。	広報誌を目にする機会がない。包括支援センター等にも広報誌を置いてもらえれば地域の方に知ってもらえるのではないかな。	地域の民生委員会等に参加し、情報を共有し、事業所としても講義や広報誌などで情報の発信を継続していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	地域のイベントや活動等に積極的に参加する。介護相談日（相談員出勤）をカレンダー等で掲示し、地域の方が気軽に相談できる環境を整える	行事やイベントには出来るだけ参加し、利用者や地域とのかかわりを継続できている。地域の方にカレンダー等での掲示ができていない。	見聞する機会がないためいつ相談を受けているのかわからない。	地域の民生委員会等に参加し、情報を共有する。また、介護相談日（相談員出勤）をカレンダー等で掲示する。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議で議題に上がった内容はできるだけ迅速に対応し、地域と共に取り組んで行く。</p>	<p>検討する課題等がなかったが、上がれば検討していく。</p>	<p>見聞した記憶はないと思う。事後報告を受けたが失念しました。町内の民生委員会でタイアップをして話し合いをしている。</p>	<p>運営推進会議で議題に上がった内容はできるだけ迅速に対応し、必要があれば地域と共に課題解決に向け取り組んで行く</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>防災・災害対策計画をもとに地域と事業所が一带となって取り組み協力体制を継続していく。訓練の際は家族にも連絡、報告する。</p>	<p>防災・災害対策に努め、地域と協力して取り組むことが出来た。訓練の際に家族へ連絡しなかった。</p>	<p>訓練の際は家族にも連絡、報告されているのかわからない。見聞した記憶はないと思う。過去はあったが、今年度はなかったと思う。どんな防災計画になっているのか知って貰えた方が家族は安心できるのではないか。</p>	<p>防災・災害対策計画をもとに地域と事業所が一带となって取り組み協力体制を継続していく。訓練の際は家族にも連絡、報告する。</p>